

建設水道常任委員会記録

平成30年6月29日(金)午前10時01分～午前10時16分(9階908会議室)

○出席委員(8名)

委員長	大平 洋人	副委員長	梅津 一匡
委員	川又 康彦	委員	鈴木 正実
委員	白川 敏明	委員	村山 国子
委員	須貝 昌弘	委員	栗野 啓二

○欠席委員(なし)

○案件

所管事務調査「浸水対策に関する調査」

- 1 当局説明の実施について
- 2 現地調査について
- 3 その他

午前10時01分 開 議

(大平洋人委員長) ただいまから建設水道常任委員会を開催いたします。

さて、18日の定例会議の閉会后、前期の所管事務調査、空き家対策に関する調査において、当委員会でまとめました5つの提言につきまして、議長より市長に対して提言書を提出してまいりましたので、簡単に報告させていただきますと、5つの提言につきましては皆様にお渡ししたとおり、ご確認いただいたとおりでございますけれども、その中で今回3常任委員会が提出させていただいたわけがありますけれども、非常に時間をとって市長よりコメントをいただきました。その部分を3つだけ簡単に取り上げさせていただきますと、提言に対して今までははい、わかりましたという、前市長さんそんな感じで短時間で終わったのですが、30分以上時間をかけて3委員会のそれぞれの提言に対しコメントいただきました。当方の委員会に関しても提言全般をコメントいただきながら、真摯に受けとめながら検討したいという前向きなお言葉もいただいております。全体的にですね。

それから、議会にも逆に提言だけではなく、スクラップ・アンド・ビルドの議論もしていただきたいというような、そういった申し入れも市長よりございました。

また、市としてはそういったものを踏まえて質の高い行政サービスをさらに目指していきたい。市

長の言う中核市のコメントにもあることを指しているのかなというふうに感じましたけれども、そのような形で積極的な雰囲気をお願いしたような感じで提言書提出の時間をやってきたということでございます。正副で出席させていただきました。

それでは、そのくらいにさせていただきますけれども、では次に当局説明の実施につきまして議題としたいと思いますが、前回の委員会におきまして、7月の18日の水曜日に委員会を開催し、本市の浸水対策に関し、当局から説明を聴取するというにいたしました。本日は、当局説明に関する調査実施内容を正副手元でご用意いたしましたので、この内容をもとに委員の皆様と協議をさせていただきますと思います。

では、書記より配付させます。

【資料配付】

(大平洋人委員長) 前回の委員会では、まず当局説明で過去の浸水被害の実例と対策につきまして所管の範囲を含めて確認をし、本市の現状と課題について把握していただくことになりました。つきましては、当局には聴取内容としましては、浸水被害の現状対策についてと、2番目としましては浸水対策の課題について、3つ目としましては浸水被害軽減に向けた取り組みについてという内容で説明を受けて、その中で前回ご意見として出されました住宅地や市街地における局地的な豪雨、ゲリラ豪雨の対策についても説明を受けたいと考えております。そのほか確認すべき事項はぜひ質疑の中でご質問、当局おりますので、いただければと思います。

そういったことで進めてまいりたいというふうに考えておりますけれども、追加で何かありますか。

(川又康彦委員) 追加というか、事前に準備しておいていただきたいデータみたいなものとか、そういったのって今要望することって可能ですか。

(大平洋人委員長) そうですね。

(川又康彦委員) 調査についてはこれで全くいいと思うのですけれども、現状と対策とか、浸水被害箇所とか多分持ってくると思うのですけれども、個人的に知りたいと思っているのが、雨の傾向というのが非常にここ数年ひどくなってきているというのは誰でも言っている部分だと思うのです。どのくらいそうなのかという部分を二、三年のスパンではなくて10年とか、かなり長期的な部分での変化を知りたいなと思っているのが1つと、あと浸水被害箇所について、実は私の自宅近くも街なみ環境整備10年ほど前に飯坂で行ったのですけれども、それに合わせて雨水管も大分太いのにしたのです。それによってうちの近辺の浸水被害というのはほとんどなくなった現状がありまして、市内の中でひどかったのだけれども、これやったらよくなりましたよというような部分、長期的な視点でそういうのがあるのかなのかというのを事例としてちょっと知りたいなと思っている部分があったので、それを事前に当たりをつけていただけるとありがたいなと。

(大平洋人委員長) 今川又委員から10年間のこれまでの被害状況の変化といたしまししょうか、考慮も含めたところと、あと被害箇所について対策がとられたことによって減ったとか、そういった。この10年

間かい。

(川又康彦委員) 多分数年では出ていない、わからないと思います。

(大平洋人委員長) 10年程度のスパンでというような資料を事前に求めたほうが議論が、いらっしやったときに、当局がいらっしやって、ではちょっと休憩なんて形になって資料も戻るようになってしまったのではまたこれも意味もない無駄な時間になってしまいますので、非常にスムーズにまた今後進めていく上においてもプラスに働く資料であれば認めるのもありかなとは思いますが、皆様、よろしいでしょうか、そういったご意見について。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) では、そういった資料を2点求めるということではよろしいでしょうか。それ以外はよろしいですか。どうですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) ありがとうございます。ただいまの意見を議決という形でとらせていただきまして、改めてお諮りをするということになっておりますので。

それでは、お諮りします。今回の当局説明につきまして、この案のとおり実施することにご異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) では、そのようにさせていただきます。

では、ほかに何かあれば。ございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) では、以上で当局説明の実施について終了いたします。

次に、現地調査について議題といたします。

前回の委員会では、今後のスケジュールを協議させていただきました。そして、8月に現地調査を行うといたしました。正副としましては、被害が多発している祓川における浸水対策の現地確認、これは都市政策部、それから市街地における雨水の浸水防除対策としてのポンプ場の現地確認というのを、同じく都市政策部所管でありますけれども、現地調査の候補として考えておりますが、このことについて何かご意見ございますか。

(粟野啓二委員) 内排水ポンプ施設ということなのかな、2番目は。祓川の現地調査のほかに。という意味で受けとめればいいの。

(大平洋人委員長) 見せられるものという問題もあるから。

(粟野啓二委員) 何カ所ぐらいあるのかなと思って。

(大平洋人委員長) 今4カ所。堀河町、それから渡利、それと郷野目、それと本内、この4つ。これ全部というわけではないよね。絞って、おそらく。

(粟野啓二委員) これ年代わかる。

(大平洋人委員長) わかります。簡単に言うと、堀河町は平成2年、それから郷野目が平成8年、それから下釜が平成5年、それから最後に渡利が平成12年と。さまざまな要因の中であつてつくっているの、渡利を見に行く予定ではいきたいというふうに考えています。

(粟野啓二委員) 簡単にできないから、これ福島市とか県だけでできないから、国交省絡むから。

(大平洋人委員長) そういうことでよろしいですか。それはこちらにお任せいただいて。あと、相手方もありますので。

以上、そういうことでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) 現地調査に関します箇所につきましての当局との調整もごございますので、この件につきましては正副に一任していただいてよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) では、そのようにさせていただきます。

では、次回の委員会でこの件につきましては議決をいただくようにいたします。

現地調査の日程につきましては、8月の2日です。午後1時半からということにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。まず、こちらにお越しをいただくということで。2日。よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) 2日で決定させていただきます。異議なしでいいね。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) そのようにさせていただきます。

では、このほか何かご意見ございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) なければ、以上で現地調査について終了をいたします。

このほか委員の皆さんから何かございますか。

(須貝昌弘委員) 過ぎてしまったのだけれども、現地調査の服装とか、あと時間1時半なのだけれども、何時終わり、大体。

(大平洋人委員長) 次回の委員会までにご提示させていただく。これはペーパーで出せるかと。持ち物も、持ち物は要らないか。服装ね。遠足ではないですからね。そういうことをさせていただくということで。暑い盛りですので、確かにヘルメットというのもね。多分大丈夫かとは思いますが、それは念のため確認をさせていただきたい。

そのほかございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(大平洋人委員長) では、なければそのように進めさせていただきます。

なければ、以上で本日の建設水道常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時16分 散 会

建設水道常任委員長 大 平 洋 人